

平成 30 年度公共ホール現代ダンス活性化事業 事業申し込みにあたっての留意事項

1 プログラム実施の考え方について

実施要綱 4 の各プログラムは、各ホールの状況や取り組みたい事業内容に応じて選ぶことが可能です。また、実施の順番は問いません。

ただし、審査は年度ごととなっていますのでご注意ください。

〈実施例 1〉 平成 30 年度 Aプログラム
平成 31 年度 Bプログラム
平成 32 年度 Cプログラム

〈実施例 2〉 平成 30 年度 Cプログラム
平成 32 年度 Aプログラム
平成 33 年度 Bプログラム

2 事業予定時期について

実施要綱 4 の各プログラムの事業日程は、アーティスト等の移動も含めた期間となります。

Bプログラム及びCプログラムについては、公演（仕込み、リハーサルなどの準備期間を含む。）及びワークショップを含めた期間となります。

なお、各プログラムの実施予定時期の記載例及び実施例は以下の通りです。

(1) Aプログラム（3泊4日以内）

第1希望：平成 31 年 2 月 14 日(木) ～ 2 月 17 日(日)

第2希望：平成 30 年 12 月 5 日(水) ～ 12 月 8 日(土)

第3希望：平成 30 年 9 月下旬

〈実施例〉 4 日間

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目
午前		アウトリーチ	アウトリーチ	移動
午後	移動	アウトリーチ	アウトリーチ	
夜間	公募型WS			

(2) Bプログラム（7泊9日以内）

第1希望：平成 31 年 1 月 31 日(木) ～ 2 月 3 日(日) 3泊4日 } 7泊9日
2 月 14 日(木) ～ 2 月 18 日(月) 4泊5日 }

第2希望：平成 30 年 11 月 16 日(金) ～ 11 月 18 日(日) 2泊3日 } 7泊9日
12 月 5 日(水) ～ 12 月 10 日(月) 5泊6日 }

第3希望：平成 30 年 8 月 25 日(土) ～ 8 月 26 日(日) 1泊2日 } 7泊9日
9 月 11 日(火) ～ 9 月 17 日(月) 6泊7日 }

〈実施例〉 4日間＋5日間

	1日目	2日目	3日目	4日目
午前				移動
午後	移動		打合せ	
夜間	公募型WS	クエーション	クエーション	

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
午前		仕込み	リハ	ゲネ	移動
午後	移動			公演	
夜間	クエーション	クエーション			

※事業日程は7泊9日以内で自由に組み合わせることが可能です。

(3) Cプログラム (3泊4日以内)

第1希望：平成31年2月15日(金)～2月18日(月)

第2希望：平成30年12月7日(金)～12月10日(月)

第3希望：平成30年9月6日(木)～9月9日(日)

〈実施例〉 4日間

	1日目	2日目	3日目	4日目
午前		リハ	ゲネ	移動
午後	移動		公演	
夜間	公募型WS	通し		

3 会場押さえについて

(1) Aプログラム

事業実施期間中は、公募ワークショップの会場が必要となります。

(2) Bプログラム及びCプログラム

①ワークショップ予定会場の押さえ

事業実施期間中は、公募ワークショップの会場が必要となります。

また、Bプログラムでは、市民参加作品創作に必要なクレーションワークショップの会場が期間中必要となります。

会場は、公演予定会場と同じでも構いません。

②公演予定会場の押さえ

公演予定会場の押さえは、仕込み1日、リハーサル1日、本番1日の最低3日間は必要となります。事業申込概要の所定欄に、押さえた期間及び会場名(大ホール、小ホール等)を記入してください。

なお、現地下見の際に、アーティストが公演予定会場を直接確認して、これまでにない会場の使い方等さまざまなアイデアが生まれる場合もあります。複数のホールを所有している場合は、可能であれば複数箇所押さえおくと可能性が広がります。

4 事業収支予算書について

実施要綱5のとおり、地域創造では、主にアーティストの派遣に係る経費（出演料、交通費、宿泊費等）を負担しますが、主催団体においても一定の予算措置が必要となります。

また、Bプログラム及びCプログラムは、現地下見の際にアーティストが会場を直接確認して公演スタイル等を決定するため、公演内容によっては、会場の設営（適正規模の空間設営）経費やスタッフの増員経費等が発生する可能性もあります。

プログラムにより異なりますが、主催団体が負担する経費は概ね以下の項目が考えられます。

＜主催団体が負担する経費の例＞

- ・現地での移動経費（会場と最寄駅・空港、アウトリーチ先、宿泊場所等への移動）
- ・会場使用料、付帯設備使用料
- ・会場要員費（地域創造で負担するテクニカルスタッフ等以外の地元スタッフ等増員分等含む）
- ・舞台・客席設営費
- ・広報宣伝費
- ・作成費（チラシ、ポスター、プログラム、チケット等）
- ・ワークショップ参加者等保険料
- ・著作権使用料 等

※Bプログラム及びCプログラムは、上記経費のうち、要綱別紙2に定める対象経費の2/3以内を、50万円を上限に地域創造が負担します。

5 提出書類について

以下の資料を、事業申込書と併せてお送りください。

(1) Aプログラム

- ①別紙「平成30年度公共ホール現代ダンス活性化事業 実施ホール概要」
- ②施設のパンフレット※

(2) Bプログラム及びCプログラム

- ①別紙「平成30年度公共ホール現代ダンス活性化事業 実施ホール概要」
- ②施設のパンフレット※
- ③公演予定会場の舞台図面（平面図・断面図）※
- ④公演予定会場の舞台・照明・音響の各設備表※
- ⑤公演予定会場の写真（客席正面から舞台、客席上手及び下手から舞台、舞台から客席）※
 - ・平土間使用の会場が公演予定となる場合は、天井の照明が入るように撮影してください。
 - ・写真は、Word文書等に1頁2枚程度を貼り付けてカラーでお送りください。
 - ・他に候補となる会場がある場合は、③④⑤の資料を併せてお送りください。

※継続して他のプログラムの実施を申し込む団体においては、既に提出済みの資料については提出を省略できることとしますが、初めてBもしくはCプログラムを申し込む場合や内容等に変更が生じた場合は新たに提出してください。

6 研修会への参加について

実施団体の担当者には、事業実施に先立ち、必ず下記研修会に出席していただきます。

※派遣経費は各実施団体で負担

■全体研修会（アーティストプレゼンテーション）

平成29年7月31日(月)～8月2日(水) 東京芸術劇場（東京都豊島区）